平成 29 年２月 24 日

各　位

会社名　　東洋炭素株式会社
代表者名　　代表取締役社長　小西　隆志
（コード番号　5310　東証第一部）
問合せ先　　財務経理部長　坊木　斗志己
（ＴＥＬ　06-6472-5811）

（訂正・数値データ訂正）
「平成 28 年 12 月期　決算短信[日本基準]（連結）」の一部訂正に関するお知らせ

平成29年２月14日に発表いたしました「平成28年12月期　決算短信[日本基準]（連結）」について、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

１．訂正の理由

平成28年12月期決算短信発表後の有価証券報告書の作成過程におきまして、集計誤り等が判明いたしましたので、決算短信の記載内容を一部訂正させていただくものであります。

２．訂正内容

Ⅰ．サマリー情報

１．平成 28 年 12 月期の連結業績（平成 28 年１月１日～平成 28 年 12 月 31 日）

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

（訂正前）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 28 年 12 月期	5,164	△4,170	△1,270	6,424
平成 27 年 12 月期	6,797	△5,235	△3,167	7,147

（訂正後）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成28年12月期	5,120	△4,127	△1,270	6,424
平成27年12月期	6,797	△5,235	△3,167	7,147

Ⅱ．添付資料３ページ

１．経営成績・財政状態に関する分析

(2)財政状態に関する分析

②キャッシュ・フローの状況

（訂正前）

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は5,164百万円（前期比24.0%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,108百万円（同4.5%減）、減価償却費3,414百万円（同7.1%減）、減損損失455百万円（同56.7%増）、売上債権の減少額328百万円（同25.2%増）、たな卸資産の減少額1,010百万円（同7.7%増）等の資金の増加に対し、仕入債務の減少額349百万円（前期は1,145百万円の増加）、法人税等の支払額743百万円（前期比18.3%減）等の資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4,170百万円（同20.3%減）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入5,249百万円（同59.8%増）等の資金の増加に対し、定期預金の預入による支出6,580百万円（同19.1%増）、有形固定資産の取得による支出2,740百万円（同4.7%増）等の資金の減少によるものであります。

（訂正後）

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は5,120百万円（前期比24.7%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,108百万円（同4.5%減）、減価償却費3,414百万円（同7.1%減）、減損損失455百万円（同56.7%増）、売上債権の減少額328百万円（同25.2%増）、たな卸資産の減少額960百万円（同2.3%増）等の資金の増加に対し、仕入債務の減少額349百万円（前期は1,145百万円の増加）、法人税等の支払額743百万円（前期比18.3%減）等の資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4,127百万円（同21.2%減）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入5,249百万円（同59.8%増）等の資金の増加に対し、定期預金の預入による支出6,580百万円（同19.1%増）、有形固定資産の取得による支出2,740百万円（同4.7%増）等の資金の減少によるものであります。

Ⅲ．添付資料 17 ページ

５．連結財務諸表

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

（訂正前）

	前連結会計年度 （自　平成 27 年１月１日 至　平成 27 年 12 月 31 日）	当連結会計年度 （自　平成 28 年１月１日 至　平成 28 年 12 月 31 日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
（中略）		
たな卸資産の増減額（△は増加）	938	1,010
（中略）		
その他	18	167
小計	7,638	5,813
（中略）		
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,797	5,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
（中略）		
その他	△28	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,235	△4,170
（以後省略）		

（訂正後）

	前連結会計年度 （自　平成 27 年１月１日 至　平成 27 年 12 月 31 日）	当連結会計年度 （自　平成 28 年１月１日 至　平成 28 年 12 月 31 日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
（中略）		
たな卸資産の増減額（△は増加）	938	960
（中略）		
その他	18	173
小計	7,638	5,769
（中略）		
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,797	5,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
（中略）		
その他	△28	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,235	△4,127
（以後省略）		

Ⅳ．添付資料 24 ページ

５．連結財務諸表

(5) 連結財務諸表に関する注記

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

当連結会計年度（自　平成 28 年１月１日　至　平成 28 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,096	2,487	2,919	9,960	32,464	－	32,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,827	104	15	120	6,067	△6,067	－
計	22,923	2,591	2,935	10,081	38,531	△6,067	32,464
セグメント利益又は損失（△）	347	△517	26	584	441	211	652
セグメント資産	57,786	2,029	3,698	16,764	80,278	△10,480	69,797
その他の項目							
減価償却費	2,829	68	166	353	3,417	△3	3,414
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,146	42	127	466	2,783	－	2,783

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失（△）の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

２．セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

当連結会計年度（自　平成 28 年１月１日　至　平成 28 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,096	2,487	2,919	9,960	32,464	－	32,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,827	104	15	120	6,067	△6,067	－
計	22,923	2,591	2,935	10,081	38,531	△6,067	32,464
セグメント利益又は損失（△）	347	△517	26	584	441	211	652
セグメント資産	57,786	2,029	3,698	16,764	80,278	△10,480	69,797
その他の項目							
減価償却費	2,828	68	166	353	3,416	△2	3,414
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,146	42	127	345	2,662	－	2,662

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

(1)　セグメント利益又は損失（△）の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

(2)　セグメント資産の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

２．セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以　上